

「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」公表のお知らせ

コモンズ投信株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:伊井哲朗、以下「コモンズ投信」)は、この度、金融庁が定める「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」における 2026 年 3 月末時点の実績を公表いたしました。

私たちコモンズ投信の「お客さま本位の業務運営」の精神は、当社の創業時からの企業文化として深く根付いていると自負しています。その原点は、自身がお客さまであつたら「こうして欲しいな」と思うサービスを常に心がけ、「今日よりも、よい明日」を考える長期的な資産形成を応援するサービスにこだわることにあります。

この理念のもと、2026 年 3 月末時点で弊社に口座開設しているお客さまのうち、運用損益率がプラスになっているお客さまの比率は 98.5%となりました。

弊社では、創業以来一貫して「積立による資産形成」をお客さまにご提案して参りました。資産形成が成功するためには「積立を継続すること」が不可欠であるとの考えに基づき、お客さまに積立を継続していただける仕組みづくりにも取り組んでおります。

こうした取組みの成果を可視化するため 2019 年から公表している「5 年以上積立を継続されている顧客の、運用損益がプラスの比率の推移」では、2026 年 3 月末時点で 99.7%と、ほぼすべてのお客さまの資産がプラスになっています。

また、弊社で口座開設されているお客さまが、どれくらいの期間に亘って資産形成を実践されているかを表す指標として、「保有期間継続率(口座開設年別)」を公表しております。

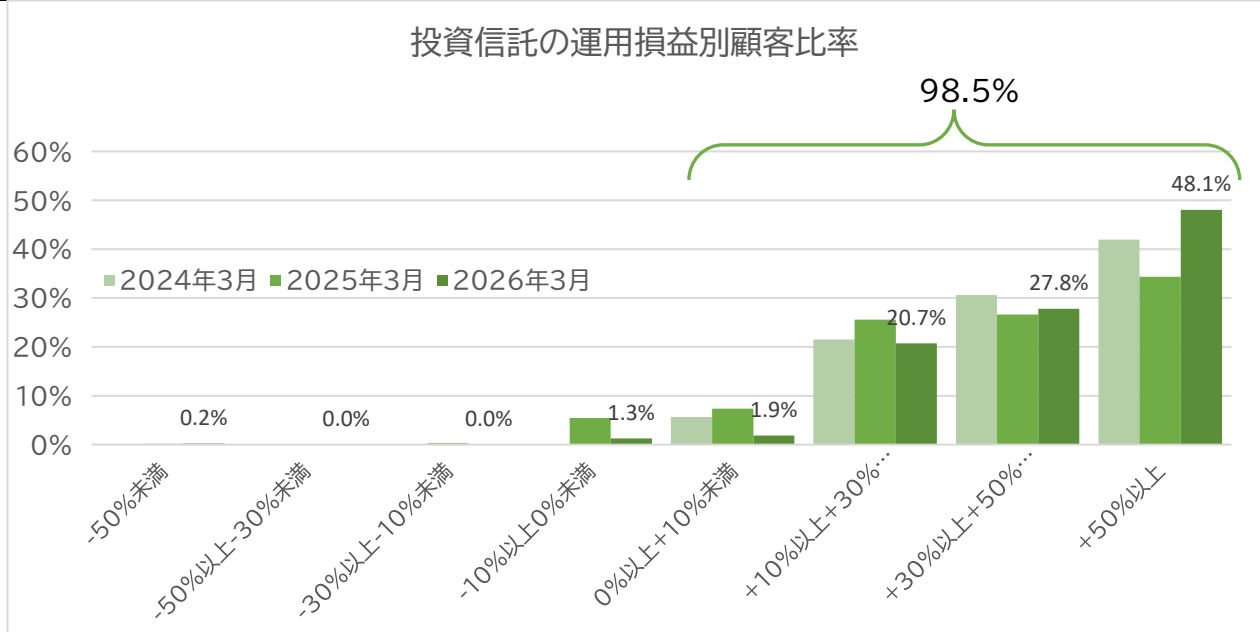
これらの取組みは、弊社の「フィデューシャリー・デューティ宣言」における「2. ② 私たちは、お客さまの短期的な利益の追求ではなく、お客さまの長期的な資産形成による豊かな生活の実現を重視します」の実践に向けた着実な一歩と考えております。

今後とも、弊社のミッションである「一人ひとりの未来を信じる力を合わせて、次の時代をともに拓く」の実現に向け、役職員一同、より一層の努力を続けて参ります。

## 1. 投資信託の運用損益別顧客比率

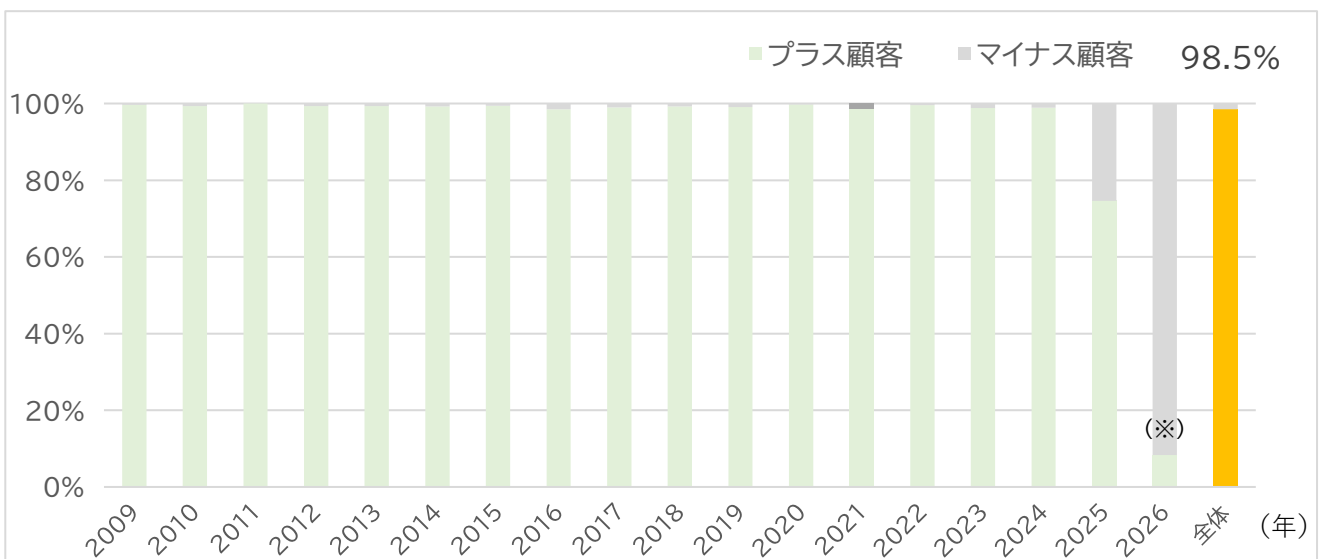
2026年3月末時点で弊社に口座開設しているお客さまのうち、運用損益率がプラスになっているお客さまの割合は98.5%となりました。

運用損益がプラスの顧客の割合の推移	2024年3月末	2025年3月末	2026年3月末
	99.7%	94.0%	98.5%



- ※ 各年3月末時点で残高がある個人口座が対象(相続等により購入データが存在しない顧客は集計対象外)
- ※ 運用損益は、基準日時点の評価金額+累計売付金額-累計買付金額にて算出(分配金(税引後)はすべて再投資され、累計買付金額には含まない)
- ※ 累計買付金額、累計売付金額は2009年1月19日(コモンズ30ファンド運用開始日)から、各年3月末までの通常の取引データを基に集計(移管等は含まない)
- ※ 運用損益率は、上記運用損益を基準日各年3月末時点の評価金額で除して算出

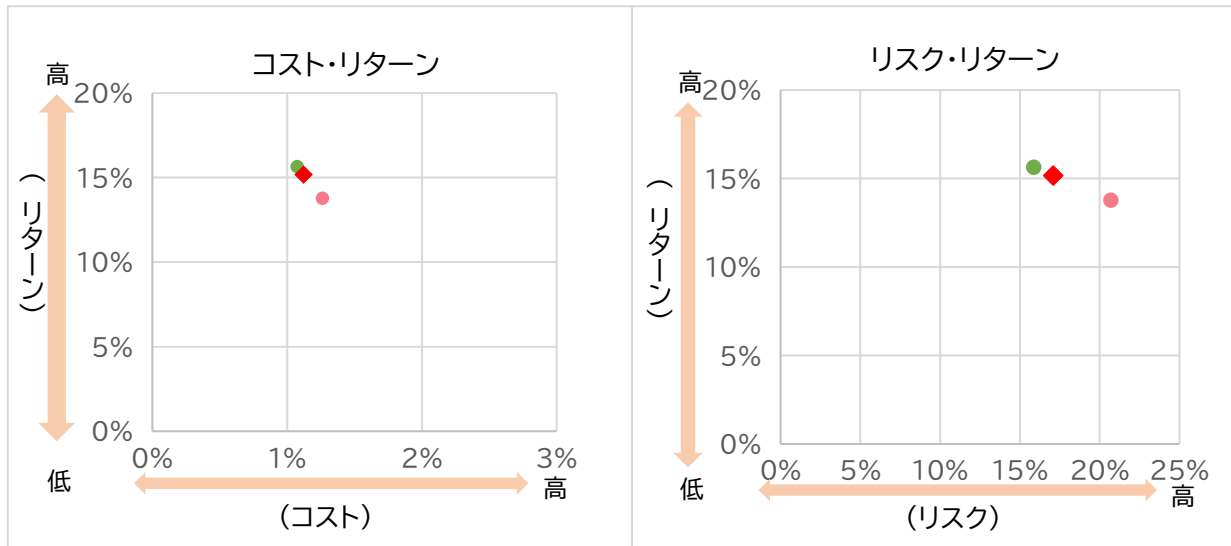
## (参考1) 口座開設年別損益状況分布



(※)2026年実績については、2025年末までに口座を開設した顧客を対象に、2026年3月末時点での損益を計算しています。そのため、計算期間が短いことや市場価格の変動が損益に直接反映されてしまう影響で大半の顧客の損益比率がマイナスとなっております。

## 2. 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

【2024年3月末】 コモンズ 30 ファンド、ザ・2020 ビジョンを対象に算出

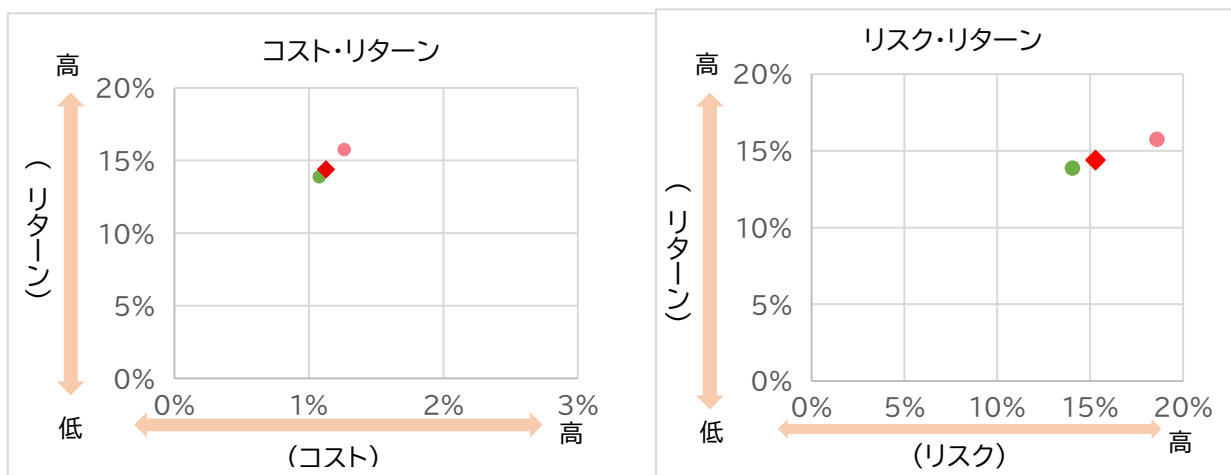


● コモンズ 30 ファンド      ● ザ・2020 ビジョン      ◆ 加重平均

残高加重平均	コスト	リターン
	1.12%	15.16%

残高加重平均	リスク	リターン
	17.10%	15.16%

【2025年3月末】 (コモンズ 30 ファンド、ザ・2020 ビジョンを対象に算出)

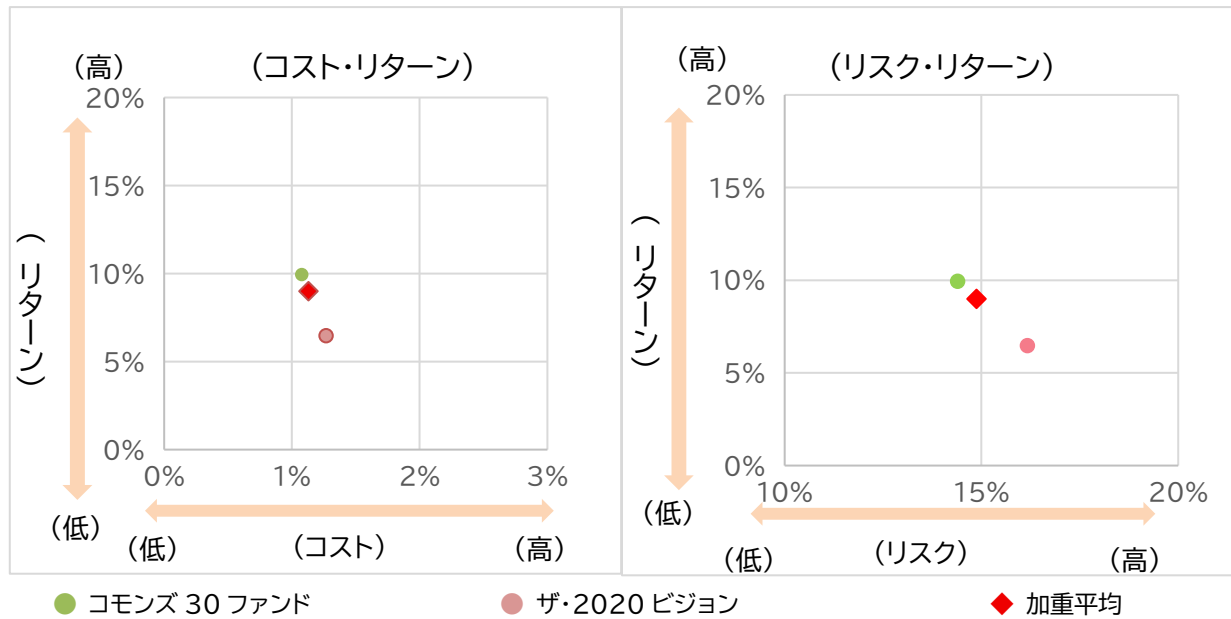


● コモンズ 30 ファンド      ● ザ・2020 ビジョン      ◆ 加重平均

残高加重平均	コスト	リターン
	1.13%	14.38%

残高加重平均	リスク	リターン
	15.29%	14.38%

【2026年3月末】 コモンズ 30 ファンド、ザ・2020 ビジョンを対象に算出



残高加重平均	コスト	リターン
	1.13%	8.99%

残高加重平均	リスク	リターン
	14.88%	8.99%

- ※ コスト…信託報酬率を使用(販売手数料はありません)、コモンズ 30 ファンドは 0.98%(税抜)、ザ・2020 ビジョンは 1.15%(税抜)、両ファンドとも純資産総額に応じて信託報酬が逓減する仕組みを採用
- ※ リターン…過去 5 年間のトータルリターン(年率換算)、騰落率算出に用いた基準価額は分配金再投資後(税引前)を使用
- ※ リスク…過去 5 年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)、騰落率算出に用いた基準価額は分配金再投資後(税引前)を使用
- ※ 当資料で示した実績は過去の一定期間の実績を示したものであり、将来の運用成果を予想あるいは保証するものではありません

○取組みの見える化について

弊社では、創業以来一貫して「積立による資産形成」をお客さまにご提案して参りました。資産形成を成功させるためには「積立を継続すること」が不可欠であるとの考えに基づき、お客さまに積立を継続していただける仕組みづくりにも取り組んでおります。こうした取組みの成果を可視化するため、

(参考 1) 口座開設年別損益状況分布

(参考 2) コモンズ投信年代別口座比率とつみたてプラン利用率

(参考 3) 平均積立年数

(参考 4) 保有期間継続率(口座開設年別)

(参考 5) 運用損益がプラスの顧客比率の推移、5 年以上積立を継続されている顧客の運用損益がプラスの比率の推移

を公表しております。

(参考 2)「コモンズ投信年代別口座比率とつみたてプラン利用率」からわかるように、コモンズ投信で口座開設しているお客さまは 30～50 歳代の現役世代が約 4 割、そのお子さま世代である 20 歳未

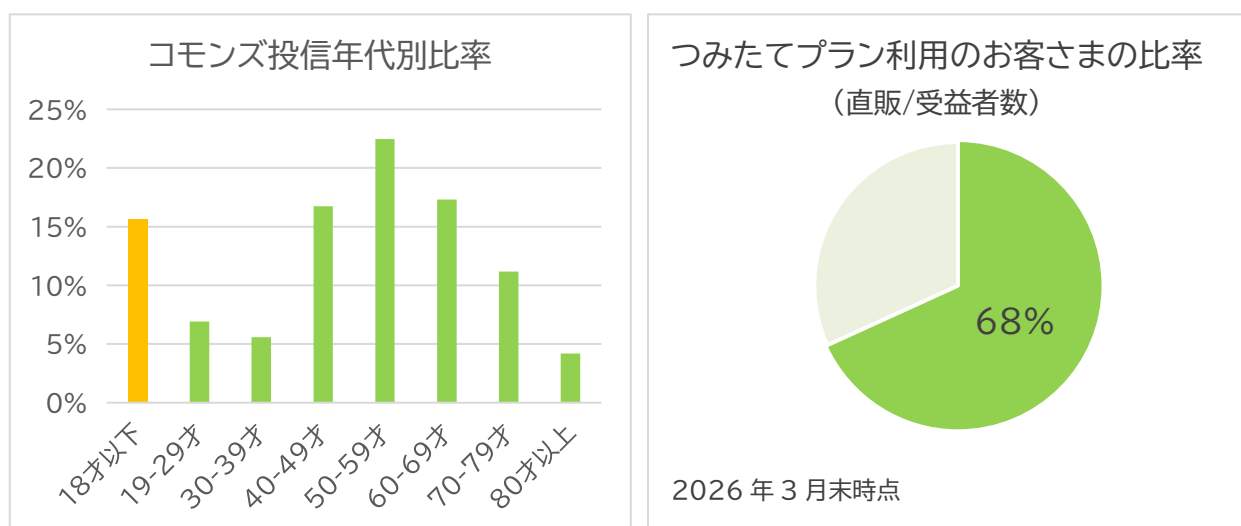
満を合わせると約 6 割となっており、ほとんどの方がつみたてプランを利用した資産形成を実践されています。

また、(参考 4)「保有期間継続率(口座開設年別)」では、お客さまがファンドを購入した月から直近 12 月末までの期間において、お客さまがファンドを保有していた月数を「継続率」で表し、口座開設年別に継続率の平均を算出しました。2009 年に口座開設いただいたお客さまの 7 割以上が、17 年経過した今でも継続して資産形成を実践されています。

その結果、(参考 5)「運用損益がプラスの顧客比率の推移」を見ると、相場状況による年ごとのばらつきはあるものの、プラスの比率が高くなっています。さらに、5 年以上積立を継続されている方においては、どのタイミングをとっても、ほぼ全員がプラスの結果となっています。

弊社で口座開設していただいている方の多くが「積立投資による資産形成」を実践され、成果を上げておられます。こうした実績を今後も積み重ね、お客さまの最善の利益に貢献して参ります。

## (参考 2) コモンズ投信年代別口座比率とつみたてプラン利用率



2025年3月末時点

## (参考 3) 平均積立年数: 6.5 年

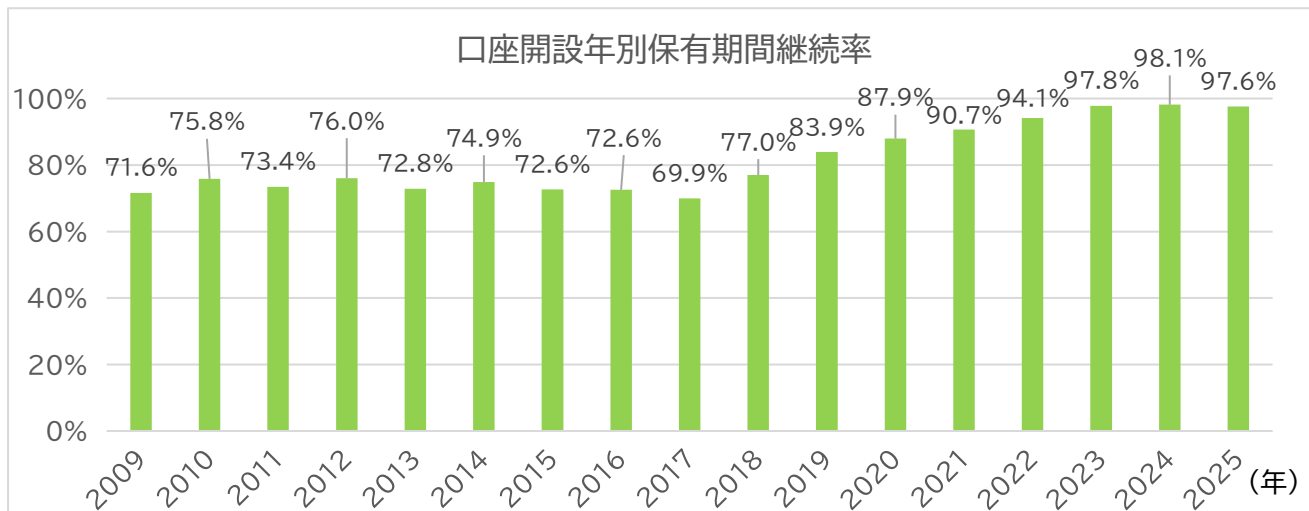
※ 2026年3月末までに「つみたてプラン」を利用したことがあるお客さまの平均積立年数。

#### (参考 4) 口座開設年別保有期間継続率

お客さまがファンドを購入した月から直近年度末までの期間において、お客さまがファンドを保有していた月数を「継続率」で表し、口座開設年別に継続率の平均を算出しました。

2009 年のコモンズ 30 ファンド運用開始時点に口座開設されたお客さまの 7 割以上が、17 年経過した今でも継続して資産形成を実践されています。その後も、どの年においても約 7 割以上の方が継続して資産形成を実践されています。

こうした状況も、顧客損益プラス比率の高さに繋がっていると考えております。



※ 保有期間継続率=(お客さまのファンド保有期間)÷(お客さまの初回購入年月から直近 12 月末までの月数)

※ 保有期間はコモンズ 30 ファンド、ザ・2020 ビジョン、コモンズ・グローバル 30 ファンドのいずれかを月末時点で保有していた月数をカウント

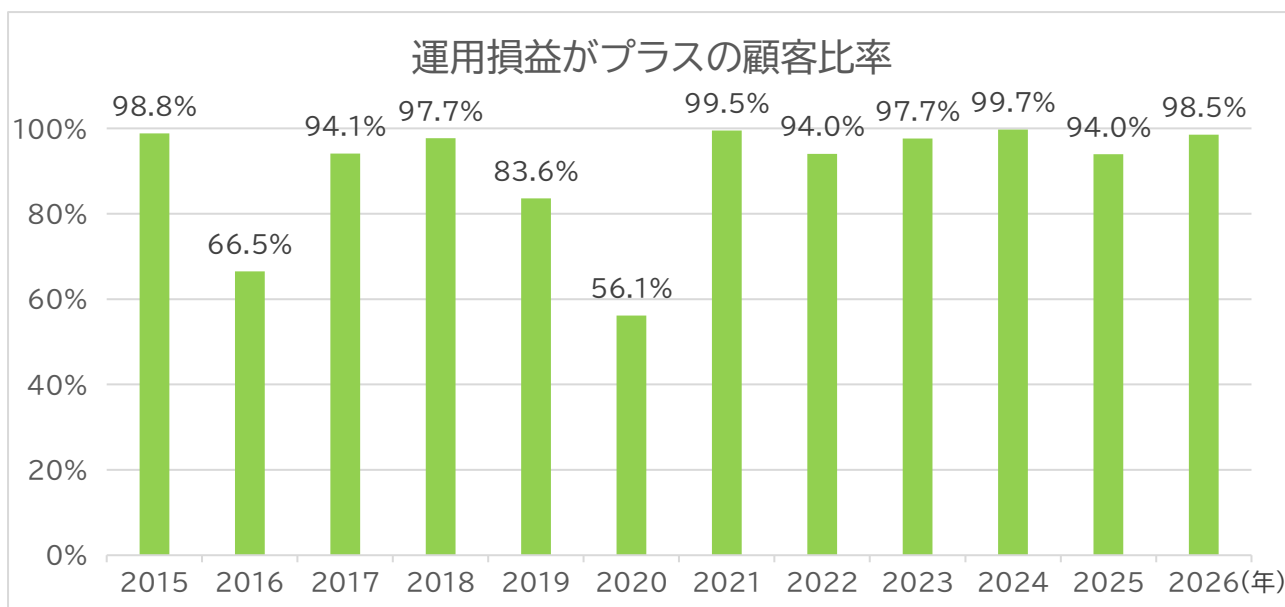
※ 各年 12 月末時点でコモンズ投信で口座開設し、ファンドの購入履歴がある個人口座を対象

#### (参考 5) 「運用損益がプラスの顧客比率の推移」と「5 年以上積立を継続されている顧客の、運用損益がプラスの比率の推移」

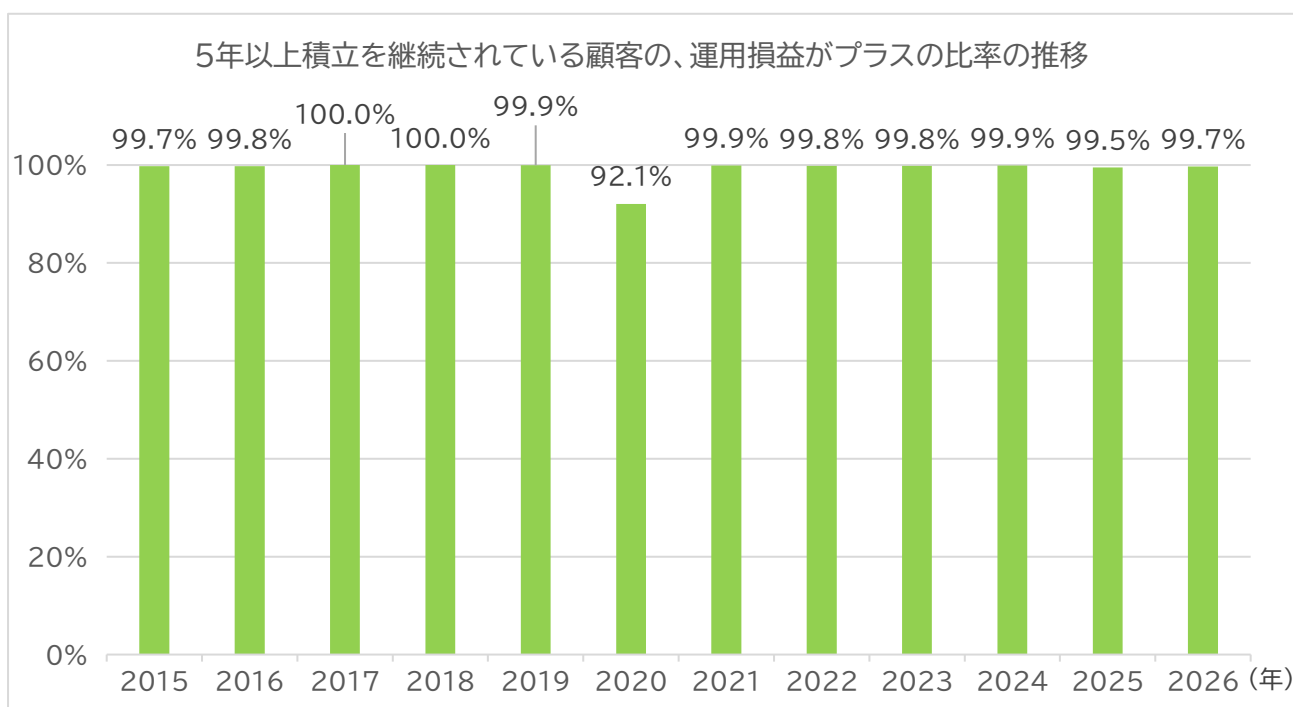
毎年 3 月末時点の運用損益がプラスの顧客比率は、その時々々の外部環境やマーケットの変動要因によって、ばらつきが生まれます。

一方、積立を 5 年以上継続されているお客さまを対象とした場合、運用損益がプラスの顧客比率は、どの時点においても、引き続き高水準となっております。

こうした実績を、より多くのお客さまにお届けできるよう、今後も積立を活用した長期の資産形成に向けた取り組みを推進して参ります。



- ※ 各年 3 月末時点で残高がある個人口座が対象(相続等により購入データが存在しない顧客は集計対象外)
- ※ 運用損益は、基準日時点の評価金額 + 累計売付金額 - 累計買付金額にて算出(分配金(税引後)はすべて再投資され、累計買付金額には含まない)
- ※ 累計買付金額、累計売付金額は 2009 年 1 月 19 日(コモンズ 30 ファンド運用開始日)から、各年 3 月末までの通常の取引データを基に集計(移管等は含まない)
- ※ 運用損益率は、上記運用損益を基準日各年 3 月末時点の評価金額で除して算出



- ※ 各年 3 月末時点において、5 年以上継続して積立をされている方(積立とスポットを併用されている方も含む)を対象に運用損益がプラスのお客さまの比率を算出

#### 【コモンズ投信会社概要】

商号:コモンズ投信株式会社

金融商品取引業者(投資運用業・第二種金融商品取引業者)

関東財務局長(金商)第 2061 号

代表者:代表取締役社長 伊井 哲朗

所在地:〒107-0062 東京都港区南青山 2-5-17 ポーラ青山ビル 16 階

設立:2007 年 11 月

事業内容:投資信託の設定・運用及び販売

加入団体:一般社団法人 資産運用業協会

URL:<https://www.common30.jp>

#### 【お客様からのお問い合わせ先】

コモンズ投信コールセンター 03-5860-5706 (平日 10 時~16 時)

■コモンズ 30 ファンドのリスクと費用はこちら

<https://www.common30.jp/fund30/risk-cost/>

■ザ・2020 ビジョンのリスクと費用はこちら

<https://www.common30.jp/fund2020/risk-cost/>

■コモンズ・グローバル 30 ファンドのリスクと費用はこちら

<https://www.common30.jp/global30/risk-cost/>

本件に関する問い合わせ先:マーケティング部 福本

電話:03-5860-5709 [miho.fukumoto@common30.jp](mailto:miho.fukumoto@common30.jp)

